

## カーボンニュートラルに向けた取り組みについて

地球温暖化対策が世界的な重要課題となっている中、当社は、脱炭素社会の実現に向け貢献すべく、CO<sub>2</sub>排出削減目標を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

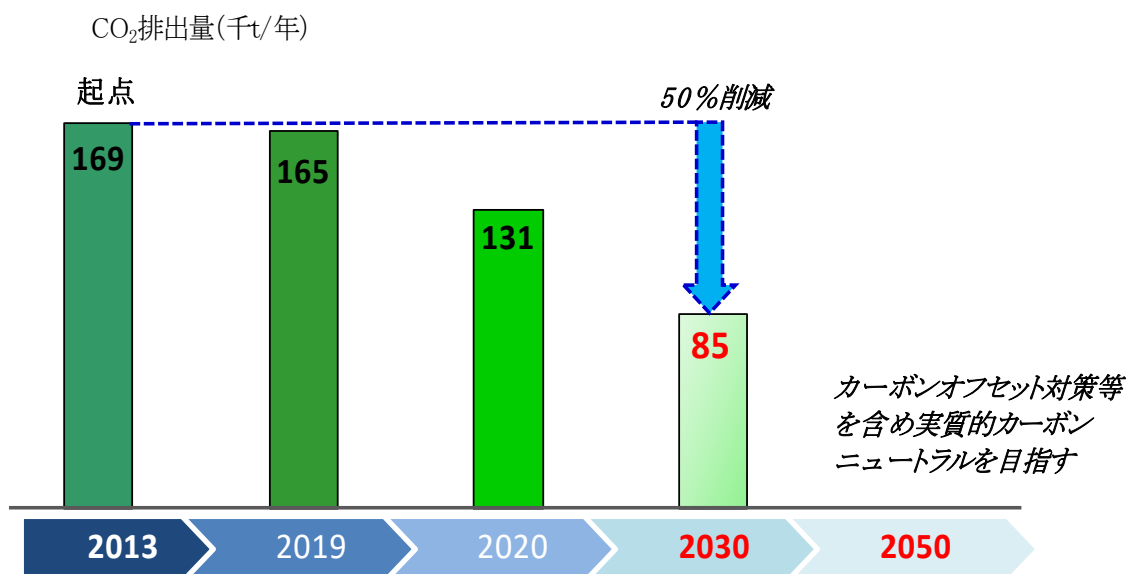
### I. CO<sub>2</sub>排出量の削減目標

- ・2030年度に当社CO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で50%削減

※2050年度にはカーボンオフセット対策等を含め実質的カーボンニュートラルを目指す。

<対象範囲>

- ・黒崎播磨単体
- ・SCOPE1：自社での燃料の使用や生産プロセスによるCO<sub>2</sub>直接排出
- ・SCOPE2：自社が購入した電気・熱の使用によるCO<sub>2</sub>間接排出



当社は、これまでも自社製造部門での省エネルギー化、燃料の LNG 化、耐火物リサイクル等を推進するとともに、高い断熱性能を有する材料開発及び省エネ工業炉設計・施工などを通じ、社会の環境負荷低減・CO<sub>2</sub>排出削減に積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、近年、地球温暖化対策が世界的重要課題となっている中、当社として更なる取り組み強化が必要との判断から、以下の主要施策を強力に推進することにより、当社の CO<sub>2</sub>排出量削減目標の達成と顧客における CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組めます。

また、顧客における新プロセスの開発・推進に対応した新たな材料開発についても、顧客と一体となって推進します。

## II. 取り組み内容・主要施策

### ①当社単独での事業活動に伴う CO<sub>2</sub>排出量削減の検討・取り組み

- 1) CO<sub>2</sub>排出量の多い事業・品種の縮小、焼成耐火物の不焼成化および不定形・プレキャストブロックへの切り替え推進、製造設備の集約・効率化、製造プロセス改善、老朽化設備の更新による高効率化・生産性向上
- 2) 省エネ工業炉設計技術、断熱材料を活かした焼成炉等での省エネ・排熱循環利用の徹底
- 3) 重油・LPG から CO<sub>2</sub>排出量の少ない LNG への転換拡大及び電動化の強化、照明の完全 LED 化、空調機器の適温設定の徹底・節電システム導入 等

### ②当社製品・施工による顧客における CO<sub>2</sub>排出量削減への貢献

- 1) 耐火物事業における低熱伝導耐火物・無予熱耐火物の開発 等
- 2) セラミックス事業における燃料電池・鉄鋼・工業炉関連への断熱材及びファインセラミックスの適用拡大、コンデンサー高速焼成炉用軽量セッター開発・適用、リサイクル景観煉瓦の拡大と不焼成化推進 等
- 3) ファーネス事業における省エネルギー工業炉設計・低熱電導耐火物の施工、バイオマス発電等環境分野での受注拡大 等

お問い合わせ先：黒崎播磨株式会社総務グループ

Tel : 093-622-7224

Mail : kouno.c18.youji@krosaki.co.jp

以上